



## 自然豊かな森の畑

太田 満

2006年春、いわきの森に親しむ会が、常磐藤原町笠石地区に土地を借用し、畑を開墾して農作業活動を始めてから今年で丸9年になりました。

当初は約100坪の休耕畑から始まりましたが、その後耕作放棄地の開墾を行い、耕作面積が増えて今は約700坪にまでになりました。

畑の北側には杉林と広葉樹の林があり、東と南側はひらけていて、数キロ先にハウリアンズの建物が見えます。

日当たりの良い環境ですが、土は粘土質であり土の中に石が多いのであまり耕作には向かない土でした。それでも、毎年堆肥や籾殻などを畑に入れているので、今ではかなり改善されて土は良くなっています。

また、近くに水路や沢水等がないため、畑に雨水利用の貯水槽を置いて用水としています。

会の農作業活動は毎週月曜日と第2、第4土曜日の午前中に行われ、8名前後の会員が参加しています。農作業の方針としては、無農薬であり且つ肥料は極力有機質肥料を使用した野菜作りをして、怪我など無く安全で、楽しく農作業をすることにしています。

畑で農薬を使用すれば、見た目の良い野菜を容易に栽培出来ますが、周囲の環境を破壊して人体にも悪影響を与えるので良くありません。無農薬では害虫や病気に対してそれなりの知恵と対策が必要になります。

畑は樹木や竹林に囲まれているため、四季を通じていろいろな野鳥や昆虫が飛んできます。キジバト、ヒヨドリ、キジ、ツグミ、などの鳥やテントウムシ、ウリハムシ、コガネムシ、スズメバチ、カメムシ、蛾や蝶、カマキリなど数えきれないほどの種類の昆虫がやってきます。

2011年の震災の年以降に初夏から秋にかけて、イノシシが畑に侵入してジャガイモやカボチャ、さつまいもなどを食い荒らす被害が出始めました。今年は特に被害が大きくて対策に追われました。考えてみれば、イノシシはもともとこの地に先住していた野生動物です。

このように、様々な動物や昆虫、植物がみられる自然豊かな環境にある畑をぜひ一度訪れてみてください。



2007年3月、畑を開墾中の会員



2014年9月の農作業

# 森林整備班の活動 桑原敏和

森林整備班の活動一覧表 (H26.07.23~10.15)

月/日	曜	実施事項	人名
7/23	水	ストーブ用薪割	4
7/30	〃	竹伐採、工房周辺の草刈	2
8/2	土	山荘周辺の草刈	4
8/6	水	薪割と山荘周辺の草刈	4
8/20	〃	ストーブ用薪割	4
9/3	水	バンガロー周辺の草刈	4
9/6	土	山荘周辺と駐車場周辺の草刈	2
9/10	水	山荘周辺とフィールド管理道路草刈	4
9/17	〃	工房周辺の草刈	4
9/20	土	観察3コース改修(木道～石積路に)	4
9/24	水	腐食丸太処分と薪材の搬出	4
10/1	〃	刈払機の点検整備、笹刃の目立て	4
10/8	水	駐車場・ビニールハウス周辺の草刈	1
10/15	水	薪割作業(ストーブ用薪)	4
計		森林整備班参加延人数	49

○今回の森林整備班の主な活動は、夏に成長した山荘とバンガロー周辺の草刈を主に実施しました。又、山荘暖房用ストーブの薪割を行い暖房用燃料薪の積み上げを行いました。



薪割作業 (H26.8.20)



観察歩道の補修 (H26.9.20)



刈払機の点検整備(笹刃の目立て) H26.10.1

◎今後の森林整備班の予定は、21世紀の森(山火事跡地)へ入る予定です。主な作業内容は、観察歩道の下刈りと歩道に倒れた樹木の伐採と撤去となります。

また、12月6日(土)に予定されている「21世紀の森育樹祭」の準備となりますのでご協力お願い致します。予定日は毎週水曜日と第1、第3土曜日です。(時間は9:00~12:00です)

目次 (主な内容)		P
自然豊かな森の畑	1	1
森林整備班の活動	2	2
農作業秋の活動報告	3	3
戸渡農作業(ソバ栽培他)	4	4
稲刈(好間冬水田圃)	5	5
木工クラフト活動報告	5	5
プログラム勉強会グループ活動	6	6
東北環境教育ミーティングに参加して	6	6
いわき市立小学校学習支援活動	6	6
上遠野小学校・中央台北小学校・錦東小学校	6	6
その他の支援活動	7	7
(青少年育成協議会・ボーイスカウト・	7	7
いわき明星大学・筑波大学)	7	7
ろうきん森の学校	8	8
ろうきん友の会自然体験	9	9
森林環境学習指導者育成研修会に参加して	10	10
自然観察班活動報告	10	10
(いわき公園・夜の生き物観察)	10	10
福島県森の案内人の会いわき支部	10	10
新舞子ふれあいの森下刈り作業に参加して	11	11
第一二回うつくしま育樹祭に参加	11	11
消防訓練を実施しました	12	12



# 農作業 2014 年秋の活動報告

農作業班 太田 満

## 1. イノシシによる被害が拡大

2011年の震災の年に、会の畑にイノシシが初めて侵入してさつまいもに大きな被害が出てから毎年侵入されていましたが、今年はじゃが芋に被害が拡大した後に侵入防止のトタンで囲った畑にまで侵入されて、カボチャとさつまいもが被害を受けました。



【破られたトタンの壁】



【荒らされた、さつまいも畑】

9月上旬までに囲いを補強して、それ以後は侵入を食い止めることが出来ました。藤原地区の他の畑にも被害が拡大しており、市の担当者に状況を連絡しました。9月中旬に、猟友会の人々が畑に来て状況を確認、罠で捕獲の予定。

\* 10/1に、くくり罠が仕掛けられたようです。（場所は柿の木の奥）

## 2. 種蒔きや収穫などの作業

9月始めより、ダイコン、ラッキョウ、大カブ、白菜などの種蒔きを行いました。

さつまいもの収穫（9/8、および9/21 森の学校）、里芋の収穫（9/15）

落花生の収穫（9/21、森の学校）、長ネギの収穫（9/29）など来年春先に苗を定植するタマネギの種蒔き（9/27、29）

【9/15、ダイコンの種蒔き作業】



ダイコンは3回に分けて種蒔きします  
今回は2回目です

←飛び入り参加の平子  
さんです

←耕運機は佐藤（幸）  
さんです

## 3. その他

- (1) ブルーベリーの収穫： 7月26日～8月上旬。今年初めに剪定したので、大粒の実がなる。
- (2) 農道や畑の草刈りや除草作業。（7/14、21、26、28、8/9、18、23、25、9/15、22）
- (3) 耕運機のタイヤのパンク修理、農機具の修理など。



## 戸渡農作業

### I. ソバ栽培について

#### 1. 畑の草刈作業（定例整備班活動日）

(1)平成26年7月16日（水）天候 曇

(2)参加者 10名

本会 松崎、野口、桑原、横田、吉田、伊藤。

フクシマ環境未来基地 3名。

戸渡より 草野。

イノシシ防護柵内の草を刈取った、刈り取った草を畑から運びだした。

その後、坂本さんが耕運機にて耕していただいた。



草刈風景

#### 2. 種蒔き（定例農作業活動日）（約1,000㎡）

(1)平成26年8月4日（月）天候 晴

(2)参加者 9名

本会 松崎、太田、関口、佐藤、桑原、伊藤、野口。

フクシマ環境未来基地 2名。

昨年は台風の被害で壊滅的な作柄でしたので、今年こそはと豊作を願って種蒔きをしました



種蒔き風景

### 3. ソバ刈

予定

(1)平成26年10月20日（月）です。

### II. 大根・油菜栽培と猪防御柵補修

#### 1. 種蒔き

(1)平成26年8月29日（金）天候 曇

(2)大根（30m畝4本）・油菜

(3)猪防御柵補修（約30m）

(4)参加者 本会員7名

耕運機にて耕作箇所を耕し、畝を作り種蒔きを行いました。



大根の畝作り



種蒔き

（注）戸渡では大根の種蒔については、8月下旬までに完了させないと大根の成長が望めないとのことです。

#### 2. まびき

(1)平成26年9月26日（水）天候 曇

(2)参加者 3名

大根の成長はほぼ正常です、11月には収穫出来るものと思われます。



## 稲刈

1.日時 平成26年9月27日(土) (晴)  
9:00~12:00

2.場所 好間町中好間川原子作地内  
(冬水田圃:約500㎡)

3.品種 コシヒカリ

4.参加者 9名

今年は昨年より一週間早い稲刈となりました。

冬水田圃特有のぬかりに足が思うように移動出来ない場所や晴天に恵まれ暑さに悩まされました。

暑さ対策として、適宜休憩を取り入れ熱中症を防止し、稲刈及び稲藁の積み上げまで無事終える事が出来ました。

今年の稲は昨年より多く出来高が期待出来そうです。



稲刈スナップ



積み上げた稲藁



田圃を前に昼食

## 木工クラフト班の活動

桑原敏和

### 木工クラフト班活動一覧表

(5/6~7/15)

No	月/日	曜	木工クラフト 実施事項	参加人数
1	7/20	日	(II Gr) ろうきん森の学校 終了後開催 ペーパーナイフ	2 (1)
2	8/5	火	竹製食器の作成 作成した容器でそうめんを食べる	11 (2)
3	8/17	日	(II Gr) ろうきん森の学校 終了後開催 ペーパーナイフ	1 (2)
4	8/19	火	ダブルコール	10 (2)
5	9/2	火	ナブキン立て(1回目)	9 (2)
6	9/16	火	ナブキン立て(2回目)	10 (2)
7	10/7	火	竹製靴べら、菜箸	12 (2)
			参加者 (指導員)	65 (11)

「木工クラフト作りスナップ」



◎.木工クラフトは形を考え工程を練る等、想像力を高めます。また、刃物を使用しますので集中力を高め手先が器用になります。何より出来上がりの達成感が最高です。健康と頭のトレーニングに最高です。木工クラフト作りに参加してみませんか。お待ちしております。

## プログラム勉強会グループ活動

佐藤 烈

### 第16回東北環境教育ミーティングに参加して

9月13日から15日まで秋田県八峰町において開催された第16回東北環境教育ミーティングに野口 紘さんと参加してきました。

第一日目はジオパークをテーマにした基調講演とパネルディスカッションがあり、夜は参加者全員できりたんぼを作りました。

二日目は次の三つの八峰白神ジオパーク体験プログラムに参加しました。

一つ目は世界自然遺産白神山地・ニツ森登山コース、二つ目は白神山地・留山散策コース（白神こだま酵母でつくるパンツくりと豆腐作りも）そして三つ目は陸と海（カヤック）から眺めるジオパークコースです。

三日目は各プログラムを振り返ってのまとめでした。

私は陸と海から眺めるジオパークコースに参加しました。

午前バスで精錬所跡や津波の慰霊碑などをバスで巡り、地元のジオパークガイドの説明を聴きました。ガイドさんはいろいろなお客さんに合わせたガイドをすることの難しさを道々話していました。

午後は私にとって初めての経験でした。救命胴衣を着けシーカヤックで海に漕ぎ出し、2時間弱海から突き出している岩を巡りました。この帰りにトラブルがありました。

帰りのバスに参加者一人が乗っていませんでした。置き去りになった参加者は、宿泊施設に電話し、そこにいたスタッフが迎えに行っただけで事なきを得たのでした。

野外体験活動においては、人数の確認が大切であることをしみじみと感じました。

## 1. いわき市立小学校学習支援活動

(7/1~9/30)

月/日	学校名	学年	学習	参加者	支援者
7/1	上遠野	3	総合学習	33	6
7/2	錦東	3	総合学習	21	6
7/8	錦東	4	総合学習	27	7
7/15	中央台北	4	総合学習	81	8
8/28	上遠野	4	総合学習	33	10
9/17	中央台北	4	総合学習	78	9
9/30	錦東	3	総合学習	21	8
	5校			294	54

これら5校のうち上遠野小4年生と中央台北小4年生・錦東小3年生の総合学習支援について以下にまとめてみました。

### ○ 上遠野小学校4年生

1.実施 平成26年8月28日（木）

2.参加 4年生 33名

3.実施内容

6月には学校の裏にそびえる山の頂上にあった八潮見城跡を探検した子供たちが、今回は、地元を流れる鮫川（柿の沢）で河川の生きもの調査に取り組みました。

バスで現地に到着した子供たちは、班に分かれて、川底に生息する水生生物を採取し、同定表を見ながら集計表に記入しました。

数日前に雨が降り河川の水量が増えていたので、スタッフは安全管理に注意している中、子供たちは初めて見る水生生物に興味を持っていたようです。

昼前に雨が降り出しましたが、柿の沢発電所下流にある、小名浜の工場に供給している工業用水の取水口を見学し、管理者から説明を熱心に聴いていました。



生き物採集風景・網からパレットに移しています



## ○ 中央台北小学校4年生

学校脇にある吉野谷公園をフィールドに観察をはじめて三回目です。

1.実施 平成26年9月17日(水)

2.参加 4年生78名

3.実施内容

今回は春、夏に観察した「班の木」が秋を迎え、どう変わったか。葉の様子はどうか、またアリの行動に注目し、その行動を追いかけてみました。

三回目の観察なので子供たちもいろいろなものによく気が付くようになってきたのがわかります。どんぐり、椿の実に興味を示し、また小さなキノコを見つけたり、バッタを追いかけて楽しそうでした。

アリの行動観察では、アリの行く手を遮るように子供が囲むので、アリは行き場がなく困っているようでした。

これは、今後工夫が必要な気がします。

## ○ 錦東小学校3年生 (若森)

1.実施 平成26年9月30日(火)

2.参加 3年生21名

3.実施内容

自然体験学習支援第3回目となりました。支援内容はグループグループの木のスケッチと、自然観察”命のつながり”です。

具体的に ①グループの木を観察し、春からの変化をスケッチ。 ②アリの通った道に旗を立て、行き先を突きとめる。 ③自然観察、校庭で”命のつながり”を発見することを学ぶ。

① ループの木の観察

まず遠くから、木の全体の変化を観察、近くに寄り、木の肌や葉っぱなどの変化や、生き物を観察しました。



グループの木をじっと観察

② アリの追跡。アリ通った跡に番号のついた旗を立てます。初めての体験で大興奮。かなり大きな穴を発見。「もしかして・もしかして」とても楽しかったようでした。



アリの通った跡に番号のついた旗を立てます。

③自然観察 命のつながりを探し殻の縁についたアオギリの実。イチヨウもたくさん実をつけていました、次の世代に命をつなぐ種子等発見。



集まって何か見つけたようです

## 2.その他の支援活動(7~9月)

(1) 青少年育成協議会 小名浜支部への支援

7/26: 五色沼・桧原湖 参加者47名、支援者2名

9/28: 湯の岳山荘 参加者57名、支援者15名

(2) ボーイスカウトいわき第2団への支援

8/9~10: 湯の岳山荘

参加者20名、支援者6名

(3) いわき明星大学の学校林整備支援

7月: 3、5、18、24、29 支援者延14名

8月: 1、8、19、22、27 支援者延15名

9月: 1、5、8、9、10、12、13、16、17、19、24、26 支援者延24名

(4) 筑波大学大学院生命環境科学科植生調査(支援)

7/21: 湯の岳(杉、桧植生調査) 大学院生1名 支援者1名

8/2~5: 同上 大学院生2名 支援者1名

8/17~19: 同上、大学院生1名 支援者1名

9/9~11: 同上 大学院生2名 支援者1名

9/28: 同上 大学院生2名 支援者1名

## ろうきん森の学校 若森秀樹

(平成 26 年 7 月～9 月)

### I. 平成 26 年 7 月 20 日 (日) (曇)

#### 1. 実施内容

- ①自然観察会、②花炭づくり、③丸太切り、  
④火起こし、⑤木工クラフト、⑥野外料理体験

夏休みに入り子供たち 7 名と保護者が参加。盛りだくさんの企画のもと、子供たちの歓声が響きました。参加者は 46 名でした。

①自然観察会 子供たちの大好きな虫探しを中心に、広場やバンガロー周辺を歩きました。

#### ②花炭づくり体験

花炭作品(松ぼっくり以外は出来はイマイチ)同時に竹筒ごはんもつくりました。

#### ③丸太切り体験



コースターをつくりに挑戦

#### ④火起こし(焚火)体験



意外に難しく、みなさん四苦八苦

#### ⑤木工クラフト

見本を参考にアイデアを競いました。

#### ⑥野外料理体験

昼食準備(参加者と本会員による協力して料理)食が進んだ昼食でした、竹筒ごはんも頂きました。

### II. 平成 26 年 8 月 17 日 (日) (曇)

#### 1. 実施内容

- ①自然観察会、②木工クラフト、  
③野外料理体験

参加者は 15 名でした。

#### 2. 実施結果

①自然観察会: 朝方雨の影響で昆虫類は行動が鈍く少なかった。なお、お盆の関係もあり初めての参加者が無かったので、フィールドの調査を実施しました。

(花) ヤブガラシ、ミズヒキ、タマアジサイ、ハエドクソウ、コバギボウシ、ヌスビトハギ、ツユクサ、オミナエシ、マツムシソウ、ヤマイモ、ブタナ、ヘクソカズラ、クルマバナ、センニンソウ、ツリガネニンジン、オトコイシ、ガンワラビソウ、ヤブラン、キンミオズヒキ、コマツヨイクサ、ダイコンソウ、マツカゼソウ、タラノキ。

(蝶) ベニオンジミオ、ヤマトシジミ、キタキチョウ、モンキチョウ、ヒメウラナミジャノメ、ジャノメチョウ、コジャノメ、クロヒカゲ、サトキマダラヒカゲ。

(セミ) ニイニイゼミ、アブラゼミ、ミンミンゼミ。

(その他) キイトトンボ、オオシオカラトンボ、ジョロウグモ、ニホントカゲ、ツチガエル。

#### ②木工クラフト

ペーパーナイフの製作を中心に実施。子供には木の枝クラフトを中心に実施しました。

#### 野外料理

キノコや夏野菜を利用した料理を昼に頂いた。

### III. 平成 26 年 9 月 21 日 (日) (曇)

#### 1. 実施内容

- ①自然観察会、②農作業体験、③野外料理体験、  
参加者 19 名でした。

#### 2. 実施結果

①自然観察会 季節を楽しむ里山の散策、秋の気配を感じようをテーマにフィールドに入りました。

最初に見つけたのはジョロウグモ。(派手な色、ちょっと怖いかな?)

生き物は住んでいる環境で身を守るため色を変えるものがある。アマガエルは何色? 環境で変わることを観察しました。

子供達も生き物に興味を示し、もう手で掴むのも平気です。昆虫なども色々捕まえ楽しみました。

お母さんも達も森の中でリラックス子供にかえり木葉でお面遊び、楽しい観察会でした。





石の下の生き物探し。サワガニが見つかり大人が夢中  
 ② 農作業作業体験  
 サツマイモ、落花生の収穫（落花生の実は土の中、知ってた？驚いていた）



特大のサツマイモをゲットに自慢のポーズ  
 ③野外料理体験 雑穀ごはん（アワ、ヒエ、キビ）、キノコの天ぷら、落花生の塩ゆでなど。  
 野外料理の基本は火起こしと焚火に挑戦、なかなか難しい。起こした火で、マイタケのホイル焼きを体験しました。



マイタケのホイル焼き体験

## ろうきん平支店友の会自然体験活動

- 1.実施 平成 26 年 10 月 15 日（水）  
9：00～14：30
- 2.参加者 17 名（本会支援者 8 名）

### 3.実施内容

ろうきん平支店友の会（会長 大沼喜人）では湯ノ岳山荘にて、秋の里山の観察会等下記事項を実施し楽しい時間を過ごされました。

#### ①.自然観察会

3 班に編成秋の里山の観察を実施しました。

#### ②.石窯料理

サツマ芋、ニンジン、タマネギの焼き料理とピザを焼き昼食に頂きました。

焼き料理ではニンジン、タマネギの美味しさに驚きでした。

昼食には、キノコ飯、キノコ汁と山荘栽培キノコ料理でした。

#### ③.木エクラフト作り

バターナイフとナプキン立て作りに挑戦して頂きました。

### 木エクラフト



ナプキン立て組立作業



完成品：ナプキン立てとバターナイフ



平成 26 年度  
森林環境学習指導者育成研修会に参加して

標記研修会に参加してまいりましたので報告いたします。

○参加者 桑原敏和、伊藤貞夫。

(1)日程

平成 26 年 9 月 5 日（金）9：00～15：30

(2)テーマ

「赤面山スキー場跡地の植生回復について」

(3)要旨

現在、森林づくり団体等が連携し、植生の復元を進めている「赤面山スキー場跡地」において、植生回復の方法や課題について研修する。

(4)主催者

福島県森林保全課

(5)研修内容

講義：国立那須甲子青少年自然の家

- ① 福島県緑の協力隊・理事長荒井 賛  
・山腹緑化の問題点や緑化工技術と樹種について。
- ② NPO 福島県緑の協力隊・副理事長今井辰雄  
・森林土壌について

(6)現地研修：赤面山スキー場跡地（国有林）

自然緑化回復の草木種について。裸地への植樹方法等及び土壌移動防止技術などについて現地研修を実施しました。

◎一度破壊した自然は元の植生等に回復は非常に困難であり、回復は期待できない事があると思われた。また、土砂災害の大きな原因となっている。

森林づくりの重要性を再認識した研修でした。

「現地研修」



赤面山スキー場跡地で自然回復状況の説明と表土剥離箇所（裸地）への植樹工法などについて研修

自然観察班活動報告

第 2 回：いわき公園「夜の生き物観察会」

(1).開催日時：平成 26 年 8 月 9 日（土）

（観察会責任者 鈴木 勤）

観察会当日、台風 11 号の影響で午後から天候が安定せず心配でしたが何とか観察会が出来そうでしたが、観察会予定時間が迫ってきたら小雨となり中止としました。

参加者の方で雨にも関わらず、観察会の受付までお出でくださった方々もあり残念でした。



心配しながら天候の回復を願って待つスタッフ

中止となりスタッフの方々も不完全燃焼。希望者で雨の夜の「いわき公園」観察に出かけに行きました。

もりの案内人いわき支部活動（情報）

夏の研修会 三崎公園観察会

実施日時 平成 26 年 8 月 31 日（日）晴  
10：00～12：00

観察場所 三崎公園

リーダー 草野秀雄

参加者 11 名

身近な都市公園の観察会でした、新たな発見と即結果の出る観察会で勉強になりました。

主なものとして、ナラガシワ、アズキナシ、ハマサカキ、ホラシノブ、ウラジロ、ツボクサ等々が観察できました。



観察会スナップ



## 「新舞子ふれあいの森」

### 下刈り作業に参加

主催：いわき青年林業会議所

1.日時 平成 26 年 7 月 19 日（土）作業時（曇）  
9：00～12：00

2.場所 いわき市四倉町仁井田地内国有林

3.参加者 28 名

（本会より 11 名、フクシマ環境未来基地 4 名）

### 4.作業内容

これまで「ふれあいの森」として、いわき青年林業会議所主催で植樹した箇所と震災後、海岸林再生のため本会と栃木環境未来基地と協働による「苗木 for いわき」により植樹箇所の下刈りを実施しました。

作業時は、曇とは言い蒸し暑い天候の中、手鎌による作業でした。熱中症が心配でしたが無事作業は終了しました。



下刈り作業



下刈りを終えた苗木を前に参加者集合

## 第 12 回うつくしま育樹祭（参加して）

第 12 回うつくしま育樹祭に参加しましたので、その一部を記載しました。

1.日時 平成 26 年 10 月 4 日（土）（曇）  
8：30～14：40

2.場所 びわ沢原森林公園（猪苗代町）

本会から育樹指導者として 3 名（福島県グリーンフォレスト認定者・佐藤（行）、池野上、伊藤）。育樹活動者として 2 名（横田、吉田）出席しました。

育樹活動内容は、カラマツ林の手入れで、林床の低木を整理する作業でした。

作業の目的の一つとして、公園ですので見通しを良くして熊等の野生動物との境界線としての整備でもありました。

育樹活動は、怪我も無く無事終了することが出来ました。

「育樹作業」



育樹活動参加者（10 班編成とした）



カラマツ林の林床の低木整理作業

\* 今回の育樹祭は平成 30 年全国植樹祭の福島県開催の内定を記念して「全国植樹祭プレイベント」として開催されました。

## 消防訓練を実施しました。

池野上 幸弘

1.日 時 平成 26 年 10 月 8 日 (水)  
13:00~14:00

### 2.内 容

#### ①避難訓練

新旧館宿泊者の避難誘導 (夜間を想定)

#### ②消火訓練

避難訓練終了後に消火器の操作方法訓練

3.参加者 4名

### 4.訓練内容

常磐消防署に消防訓練計画通知書を提出して実施しました。

消防署に対して消防職員派遣依頼をせず、山荘の管理人を対象として行いました。

前もって常磐消防署より「訓練用水入れ消火器」を3本借用しました。

「訓練用水入れ消火器」の形状は粉末 (ガス加圧式) 消火器とほぼ同じですが、中身は粉末でなく水で、操作方法は同じです。

#### ①避難訓練 (桑原敏和さん立案)

- 1.調理室で管理人Aが火災発見し、風呂場入口の火災報知機を押す (模擬)。
- 2.近くの粉末消火器で消火を開始しようとしたが火の勢いが強くあきらめる。
- 3.119番専用通報機で消防署に連絡 (模擬)。

4.旧館の宿泊者Bを誘導して白樺部屋 (部屋の名前) の窓から避難させ森の工房に向かわせる。

5.新館の宿泊者を部屋入口通路側の窓より避難させ管理人も同時に避難。

6.森の工房で宿泊者Bを確認する。

7.消防車が到着したら、避難状況、水利、危険物配置状況等質問に答える (模擬)。

#### ②消火訓練

避難訓練終了後に参加者全員で消防署より借りた「訓練用水入れ消火器」3本で実施する。発生火点位置に目印を立て、1人ずつ操作方法を習得する。訓練は無事終了しました。湯ノ岳山荘には12カ所に粉末消火器を設置してあります。



訓練用水入れ消火器

(消火器とほぼ同じで消火剤は「水」です。消火器操作訓練用です)

常磐消防署より借用した訓練用消火器

### 編集後記

会報「ヤマザクラ」が今回で11号となりました。会員の方々のご協力に感謝申し上げます。

これまでも会報の内容を少しでも充実させたいと思っておりますが、まだ満足のものとなっておりません。

今日 (10/17) 原稿がまとまり発行日20日に見通しが立ちました。いつも綱渡り状態です。

次回会報第12号は一新すると思っております。

今回山荘事務の床張替や事務所内も機能的にレイアウトが変更・改装されました。

改装と同時に「カラーコピー」が導入されることになりました。

会報がカラー印刷になる予定です。

ご期待ください。と言うものの編集担当として大変なことになったと思っております。折角のカラーです綺麗な写真など見やすいものとし、内容も充実したいと思っております。ご協力宜しくお願い致します。(伊藤)

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会  
(発行責任者) 松崎和敬 (編集担当者) 伊藤貞夫  
(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2  
湯ノ岳山荘内  
TEL/FAX 0246-44-3273  
E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp  
HP:http://iwaki-mori.Jimdo.com/